



コンテンツ側からみたICANN84の 報告

2025年12月11日

JPMAC（出版5社マンガ海賊版サイト対策会議）

弁護士・弁理士 丸田憲和



今日の内容

- 1 はじめに
- 2 DNS Abuse
- 3 RDRS
- 4 Trusted Notifierプログラム

1 はじめに

- JPMAC（出版5社マンガ海賊版サイト対策会議）はIPCのメンバー
- ICANN84にて参加・視聴したいくつかのセッションのうち、コンテンツ側の視点で注目したポイントをピックアップしてご報告する
- 本発表は発表者の個人の見解に基づく

2 DNS Abuse

NetBeaconの提言（※1）に基づき検討が進められている

※1 **White Paper: Proposal for PDPs on DNS Abuse**

<https://netbeacon.org/white-paper-proposal-for-pdps-on-dns-abuse/>

ICANN83報告で言及

2 DNS Abuse

- ①制限のないAPIアクセスへの対応
- ②関連ドメインチェック

どちらもシステムチックなDNS abuseを減少させるために効果的な対策となり得ると評価され、全体的な支持を得た

セッション:GNSO DNS Abuse Work Session

2 DNS Abuse

(所感)

- ①大量のドメインの悪用はコンテンツ侵害の場面でも起きているため、直接的な良い影響が期待できる
- ②コンテンツ侵害の場面への応用の可能性を探りたい

3 RDRS

RDRSの運用を2年間、最大で2027年12月まで継続するよう理事会が指示（※2）

参加の義務化、ccTLDの参加促進などが議論
GAC: ccTLDの任意参加を支援（※3）

※2 <https://www.icann.org/en/board-activities-and-meetings/materials/approved-resolutions-regular-meeting-of-the-icann-board-30-10-2025-en#section2.e>

※3 GAC Communiqué – Dublin, Ireland1

セッション: Joint Meeting- GAC and GNSO

3 RDRS

(所感)

RDRSは侵害対策に有用

以下の事例が頻発

- ①RDRSによる情報取得に対して、登録情報の変更を繰り返す
- ②RDRS不参加のレジストラへ移行
→データ正確性の確認、RDRSの範囲拡大

4 Trusted Notifierプログラム

DotAsiaとTWNICがccTLD間のTrusted Notifierネットワークを構築

.TWと.UKとの間でパイロット運用中

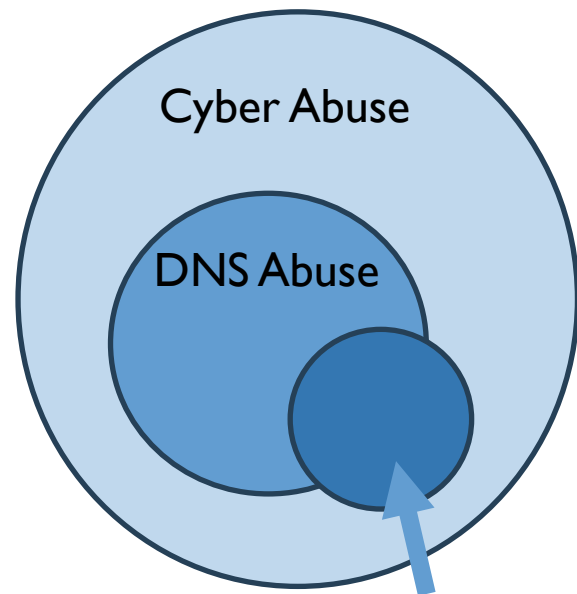
セッション:GAC Discussion on DNS Abuses Mitigation

4 Trusted Notifierプログラム

信頼関係に基づく
迅速な対応を行う

2025年：51ドメイン

セッション:GAC Discussion on DNS Abuses
Mitigation



レジストリによる対応
がふさわしいAbuse

4 Trusted Notifierプログラム

(所感)

コンテンツ侵害において非常に有効な
対策となり得る

参加メンバーの拡大が重要